

伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020

コンセプトと基本方針

【コンセプト】

悠久の歴史を刻む伊勢神宮

人々の営みと自然が織りなす里山里海



【基本方針】

伊勢志摩地域の人々が、国立公園に住むこと
に意義と誇りを持ち、自発的に魅力ある公園
づくりを推進していく

視点1：上質な展望環境及び快適な利用環境の整備

視点2：観光資源の磨き上げによるストーリー性を持った質の高い
自然体験等の提供

視点3：人々の営みと自然が織りなす優れた景観の保全

数値目標 訪日外国人利用者数
3.3万人（2015年）⇒ 10万人（2020年）

取組方針

A) アクセスルートに係る取組

取組① アクセス道の環境整備

駅や港などの主要交通拠点やビューポイント（重点取組地域）等の利用拠点を結ぶ
アクセスルートの景観改善、主要交通拠点の機能向上、交通アクセスの充実等を
推進する。

B) ビューポイントを中心とした取組（ビューポイント：21箇所）

取組② 多様な主体によるサービスの提供

伊勢志摩国立公園は民有地が9.6%を超えるため、民間団体等と連携しながら、
ツアー・プログラムの開発など、多様なサービスの提供を推進する。

取組③ まちなみ等の景観改善

展望地からの自然景観や、まちなみの景観を阻害する施設や広告物について、**景観計画等により景観改善を図る**とともに、**地域住民による環境保全活動**を促進する。

取組④ インバウンド対応のための施設整備等

外国人観光客が国立公園を快適に利用できるよう、**標識等の多言語化、施設のユニバーサルデザイン化を、ビューポイントを中心に促進する。**

取組⑤ 人材育成

地域住民が国立公園に住んでいることに意義と誇りが持てるよう、**地域住民を対象にした啓発活動や、地域資源を活用する活動回体、ガイドを育成する。**

C) 国立公園全体のプロモーション等に係る取組

取組⑥ 国立公園への誘導・プロモーション

ファムトリップの活用やMICEの誘致など、効果的・効率的なプロモーションを
図る。

具体的な取組

取組① アクセス道の環境整備

◆主要交通拠点で伊勢志摩国立公園の自然等の情報を展示・解説し
公園の利用を促進する 【三重県・各市町（H29～H32）】

◆タクシー、バス（コミュニティバス）、レンタカー、レンタサイク
ル等二次交通の検討を進める 【交通事業者等（H29～32）】



二次交通の整備

取組② 多様な主体によるサービスの提供

◆伊勢志摩エコツーリズム推進協議会を設置する
【三重県、伊勢志摩観光コンベンション機構、エコツーリズム活動
団体（H29～H32）】

◆景観をじっくり味わうために、横山園地にカフェ等の飲食を提供
する施設を設置する 【環境省・志摩市（H29～H32）】



自然体験活動

取組③ まちなみ等の景観改善

◆三重県景観計画、各市町景観計画等に基づき、まちなみ景観の保全
を図る 【三重県、各市町（H29～H32）】

◆貴重な自然環境を有する地域において、住民参加によるナショナル
トラスト等を含めた具体的な保全方法の検討を進める
【三重県、各市町、地域住民（H29～H32）】



統一されたまちなみ

取組④ インバウンド対応のための施設整備等

◆バリアフリーに向けた観光関連の取組を支援する
【三重県、各市町（H29～H32）】

◆利用施設のユニバーサルデザイン化を促進する
【三重県、各市町（H29～H32）】



バリアフリー観光

取組⑤ 人材育成

◆訪日外国人利用者対応のためのおもてなし人材の育成を図る
【三重県（H29～H32）】

◆自然体験活動に係るインストラクターやガイド等の人材育成支援の
充実を図る 【三重県（H29～H31）】



学生部会

「あばぽい」

取組⑥ 国立公園への誘導・プロモーション

◆国際会議 MICE 誘致に向け、地域のユニークベニューの情報を整理し、連携体制の構築、機
運醸成を図る【観光事業者、三重県、伊勢志摩観光コンベンション機構等（H29～H31）】

◆提供したいサービスのターゲットごとに在日外国人をファムトリップで誘致し、サービスのヒ
アリングを行うとともに、参加者に情報を発信してもらう【伊勢志摩観光コンベンション機構、
各市町（H29～H32）】

効果検証

伊勢志摩国立公園地域協議会において、国立公園別訪日外国人実利用者数推計値により検証、
評価を行い、改善点について見直しを行う。

